



としょしつ
図書室だより 1月

あたら 新しい年が始まりました。図書室では今年もさまざまな本を
しょくかい 紹介していきます。今年もたくさん読書を楽しんでください。

おすすめ！ 季節の本紹介



『見つけよう生きものかくれんば』 雪のかくれんば』



(低学年向け) 小宮輝之/監修 (分類E) 小峰書店

雪の中にいろいろな動物がかくれているよ。どんな動物がいるかわかるかな？目をこらしてさがしてみよう。

『ナルニア国物語 ライオンと魔女』 (高学年向け)



C.S.ルイス/作 ボーリン・ペインズ/絵 (分類933) 岩波書店

ルーシーが衣装ダンスの奥に入っていくと、いつしか雪の降り積もる森の中にいました。そこは別世界ナルニア国でした。 ※シリーズ本です。

『雪の写真家ベントレー』 (中・高学年向け)



ジャクリーン・ブリッグス・マーティン/作 メアリー・アゼアリアン/絵 千葉茂樹/訳
(分類289) B.L.出版

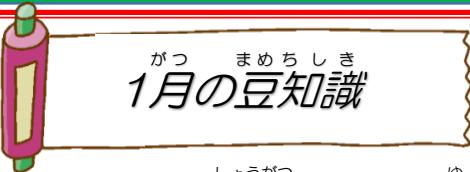
世界中の人々に雪の美しさや神秘的なみりよくを伝えた
ウィルソン・ベントレーの一生をつづった伝記絵本です。

令和8年1月
多摩川の学び舎
世田谷区立瀬田小学校
校長 日高玲子
発行 図書室

としょしつ
図書室からのお知らせ

◆冬休みに借りた本は1月16日(金)までに返してください。

1月の豆知識



◆むかしの正月遊びの由来

すごろく(双六)

サイコロをふってはやく「あがり」にたどりついた人が勝ちになるゲーム。サイコロをふり、六と六がならぶことを「双六」といい、それが最高の数字。そこから「すごろく」といわれようになりました。



かるた(歌留多)

読まれた札にあう絵札や文字札をとるカードゲーム。「百人一首」など日本古来のかるたは、平安時代後期に貴族の間で流行した貝合わせという遊びが始まりといわれています。それが16世紀後半にポルトガルから伝わってきた南蛮かるたと結びつきました。



参考:『行事の名前のひみつ』国松俊英/文 熊谷さとし/絵 (分類386) 岩崎書店
『みんなの俳句がいっぱい!学校歳時記⑤冬・新年の季語』白坂洋一/監修
(分類911) ポプラ社